こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月2回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 「コラム」に新しい記事をアップしました。

ウェビナー傍聴：REDD+信用カスコア：CCQIによるウェビナー（2024年7月2日）

◆2. 政府機関の報道発表

[1] 令和6年度から令和8年度「二国間クレジット制度を利用した代替フロン回収・破壊プロジェクト補助事業」の公募開始について（環境省）

◆3. イベントのお知らせ

[1] 農業分野の二国間クレジット制度 (JCM) の始動：アジア開発銀行 (ADB) 拠出事業による水田メタン削減に関する JCM を活用したフィリピン方法論案の公表 (6/28) (農水省)

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 「コラム」に新しい記事をアップしました。

ウェビナー傍聴：REDD+信用カスコア：CCQIによるウェビナー（2024年7月2日）

日時：2024年7月2日（火）

主催：Carbon Credit Quality Initiative (CCQI)

カーボン・クレジット・クオリティ・イニシアティブ (CCQI) は、炭素クレジットの品質を評価するスコアリング・ツール (<https://carboncreditquality.org/scores.html>) を公開している。このウェビナーでは、CCQI のスコアリング・ツールの構成とツールを使った品質評価の方法を解説し、REDD+の新しい方法論 (VM0048) から創出される炭素クレジットの品質に関する調査結果について発表した。54 の管轄

区域を仮定して分析した結果、VM0048 の下では、一部の国では排出量削減のベースラインが大幅に過少評価され、他の国では過大評価された。極端な例では、カメルーンのベースラインは 200%過少評価され、ウガンダのベースラインは 50%過大評価された。最後に質疑応答を行い、参加者から CCQI の調査方法（ベースラインやバッファの取り扱い等）に関する批判や質問が述べられた。

【詳細】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11729/

【傍聴報告】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/wp-content/uploads/2024/07/20240702_CCQI_memo_OECC.pdf

◆ 2. 政府機関の報道発表

[1] 令和 6 年度から令和 8 年度「二国間クレジット制度を利用した代替フロン回収・破壊プロジェクト補助事業」の公募開始について（環境省）

令和 6 年 7 月 8 日（月）より、令和 6 年度から令和 8 年度「二国間クレジット制度を利用した代替フロン回収・破壊プロジェクト補助事業」について、執行団体である公益財団法人地球環境センター（GEC）より公募を開始します。

【報道発表】

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_03432.html

◆ 3. イベントのお知らせ

[1] 【お知らせ】農業分野の二国間クレジット制度（JCM）の始動：アジア開発銀行（ADB）拠出事業による水田メタン削減に関する JCM を活用したフィリピン方法論案の公表（2024 年 6 月 28 日）

【概要】

農林水産省は、アジア開発銀行（ADB）と協力して、二国間クレジット制度（JCM）を活用した農業分野の温室効果ガス削減に向け、フィリピンとの間で、水管理による水田メタン削減の具体的手法（方法論）案を公表しました。この方法論案は、パリ協定 6 条 2 項に基づくものであり、今後プロジェクトが進みクレジットが発行されれば世界初となります。

また、この取組を広く周知し、水田メタン削減を始めとした農業分野の JCM の活用を促進するため、6 月 28 日に、記者発表会を開催しました。

6 月 25 日の第 5 回有識者委員会において、フィリピンにおける間断かんがい技術（AWD）による水田メタン削減に関する方法論案が合意されました。日本を含むアジアにおいて二国間クレジットの取組は

農業分野ではこれまで行われておらず、本方法論案の公表は初の取組となります。また、今後、本方法論案に基づく民間プロジェクトが進み、クレジットが発行されれば、農業分野では世界初となります。

【詳細】

⇒ http://carbon-markets.env.go.jp/column/event_report/11728/

◎ ●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度（JCM）や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ info@carbon-markets.go.jp

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー（PDF）は下記サイトで公開しています（最新号を配信後に、前号がアップされます）。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング 3 階

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。